令和6年

奥州市教育委員会会議録

第2回定例会 2月19日招集

奥州市教育委員会

1 開会、閉会等に関する事項

開催日時 開会 令和6年2月19日(月)午後3時

閉会 令和6年2月19日(月)午後4時15分

開催場所 江刺総合支所4階特別会議室

2 出席委員当の氏名

	高橋	勝	教育長 ⇒ 欠席
1番	吉田	政	委員(教育長職務代理者)
2番	高橋	キエ	委員
3番	松本	崇	委員
4番	菊地	幸	委員 ⇒ 欠席

3 説明のため出席した職員の職及び氏名

佐藤浩光教育部長、松戸昭彦教育総務課長、吉田博昭学校教育課長、菊池長学校教育課主幹、小野寺正行歴史遺産課長、千葉学協働まちづくり部生涯学習スポーツ課長

事務職員出席者 千田俊輔教育総務課長補佐

4 本日の会議に付した事件(議事日程第1号)

第1 会期の決定

第2 教育長報告

生徒指導について

第3 議案第1号 県費負担教職員(奥州市立小中学校の校長)の人事異動の内申について

第4 議案第2号 議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理
に関し承認を求めることについて

第5 議案第3号 令和6年度入学分奥州市奨学金(入学準備金)の貸与の決定について

5 会議の概要

開会、会議成立宣言、本日の会議日程について「議事日程第1号」により進めることを宣言、秘密会とする議決(教育長報告「生徒指導について」、議案第1号及び議案第3号)、秘密会とした教育長報告「生徒指導について」は、学校ごと又は児童生徒の個々の状況に関わらない部分のみ、議案第1号及び議案第3号については審議の結果のみを公表することの議決、議案の審議

第1 会期の決定について

本日1日と決定

第2 教育長報告

- (1) 生徒指導について
詳細について、吉田学校教育課長が資料に基づき説明

以上で教育長報告を終わる。

-
- 第3 議案第1号 県費負担教職員（奥州市立小中学校の校長）の人事異動の内申について
松戸教育総務課長が議案を朗読、佐藤教育部長が提案理由を説明し、補足説明を吉田学校教育課長が行った。

【提案理由】

- ・ 当市教育委員会において適用される、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第38条第3項の規定による、県費負担教職員の人事異動に係る内申を行うため、提出するもの。

【補足説明】

- ・ 当日配布資料別紙1のとおり
- ・ まだ案の段階であり、3月の新聞発表をもって正式な発表となるため、情報の取り扱いに留意すること。

【質疑等】

なし

【討論】

なし

採決の結果、原案どおり決することに全員異議なし

原案可決

-
- 第4 議案第2号 議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出に係る臨時代理処理に関し承認を求めることについて

松戸教育総務課長が議案を朗読、佐藤教育部長が提案理由の説明及び補足説明を行った。

【提案理由】

- ・ 議案第2号については、令和6年第1回奥州市議会定例会において、市議会の議決を経るべき事件の議案を作成することについて、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、市長から当委員会の意見を求められたが、教育委員会を招集するいとまがなかったことから、「教育長に対する事務委任等に関する規則」の規定に基づき臨時代理処理を行い、市長に対し意見の回答を行った。については、この処理に対し、同規則の規定により当委員会の承認を求めるため、本案を提出するもの。

【補足説明】

- ・ 令和6年第2回奥州市議会定例会付議事件のうち、教育委員会に関するものは、議案5件である。
- ・ 議案第1号「教育委員会の教育長の任命に関し同意を求めることについて」は、高橋勝教育長の任期が令和6年3月31日をもって満了するため、引き続き、教育長として任命することに関し、議会の同意を求めようとするもので、任期は令和6年4月1日から3年となる。
- ・ 議案第2号「教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて」は、教育委員会の吉田政委員の任期が令和6年3月30日をもって満了するため、その後任の委員の任命に関し、議会の同意を求めようとするもので、任期は令和6年3月31日から4年となる。
- ・ 議案第6号「江刺こども施設条例の制定について」は、多様な支援が必要な市内の不登校児童生徒、幼児及びその保護者に対し、学び療育の場を提供するため、江刺こども支援施設を設置しようとするもので、条例の施行期日を令和6年4月1日とするもの。
- ・ 議案第20号「令和5年度奥州市一般会計補正予算（第14号）」は、執行見込みによる工事請負費等の減額、学校施設非構造部材耐震性一斉点検業務委託料の増額、各種施設の修繕料の増額などの所要の補正を行うもので、10款教育費に関しては、歳出を3億4千845万8千円減額し、予算総額を62億5千675万8千円とするもの。
- ・ 議案第31号「令和6年度奥州市一般会計予算」について、令和6年度当初予算における10款教育費の総額は、69億9千854万円となっている。主な事業については、令和6年度主要施策の概要のとおりである。

【質疑等】

高橋委員

I C T支援員の人数、学校訪問の回数等内容について伺いたい。

菊池学校教育課主幹

現在は、教育研究所に1人いる。今のところ、外部委託を検討しており3人を考えている。週に1回、学校を訪問し、いろんな指導をする内容になっている。取組状況、学校規模等を勘案し、調整しながら対応する予定である。

高橋委員

学校訪問してみると、学校ごとの利用状況にバラつきがあるという印象を受ける。先生方も得手不得手があり、まだまだ取り扱いが難しい部分もあると思う。先生方の負担軽減につながるような、また、子どもたちも十分に活用できるような支援をしていただきたい。

菊池学校教育課主幹

G I G Aスクールが始まった当初からそのような声はあったが、初年度はどちらかというとA I ドリル、電子黒板等の要望が強くあった。来年度は、教師の負担軽減を図りながら現場の差を解消していきたい。

吉田委員

歳入の小中学校給食費納入金の滞納繰越分は、見込みの金額か。

佐藤教育部長

滞納額に見込の収納率を乗じた金額である。

吉田委員

学校のトイレの改修の状況はどうなっているか。

松戸教育総務課長

令和5年度末の小中学校の洋式化率は56.5%で、和式のトイレが600ほど残っている。1件当たり約60万円程度の経費がかかり、単純計算で3億6千万円となる。総合計画で令和8年度までに60%という目標を立てて進めているが、令和7年度末には60%に達する見込みで増えている。エアコンの設置と併せて議会からも特に強く言われてる部分であり、予算の範囲で計画的に進めたい。

佐藤教育部長

職員の数も限られており、予算があればどんどん進められるものでもないので、少しずつ計画的に進めている。

高橋委員

トイレの洋式化率は、教職員が使うトイレも含めたものか。

松戸教育総務課長

教職員用のトイレも含めた割合である。洋式化する際に、子ども用か大人用か学校の要望を確認しながら、実情に合わせた進め方をしている。

吉田委員

教育行政方針に特別支援教育支援員を増員するとあったが、令和6年度の人数は何人か。

吉田学校教育課長

特別支援教育支援員については、小学校に3名増員する。そのうち1名は、医療的ケアが必要な児童が入学するため、看護師資格を持ち、当該児童にほぼ専属で対応する。小中合わせて51名となる。

高橋委員

部活動指導員の人数と配置されている学校数を教えてほしい。

吉田学校教育課長

予算上は今年度各中学校1名ずつの7名であったものを、配置する学校は未定だが、来年度は3名増やし10名とする予定である。実情は、学校によって様々である。まずは教員で顧問を割り当て、専門的な指導ができない競技について部活動指導員を申請をする学校や、顧問がいるいないにかかわらず、外部の指導員をお願いしたいという学校もある。教員の意識も徐々に変わりつつはある。かつては、部活をやりたくて教員になった人も多かったが、最近は、できれば部活動を持ちたくな人もいる。休日の部活動の地域移行を図ったり、スポーツ少年団や保護者会などに徐々に移行していく計画である。

松本委員

部活のことで保護者から相談があった。うちの部活には出てるけど、他の部の指導員には出ないという不満が出ているようだ。今まで、部活が先生の強制ボランティア状態だったのを地域移行していく中で、大きな問題になるのかなという印象を受けた。指導員の交通費や指導員のお金をどうするかというのは問題になるのではと思っている。任意入部になったら半分が入部しなかったという話を聞いた。発散の場という意味でもとてもよい活動だと思うので、任意とは言え、できるだけ参加するように持っていきたいなという気持ちがある。教育現場としては、地域にお願いし、やりたい人だけやる方向なのか。

吉田学校教育課長

今は、学校単位での学校での部活動がほとんどだが、国としての大きな流れとしては、学校教育から離れて部活動の地域クラブ移行という考え方である。奥州市では、休日もその単位のまま、別の指導者やスポーツ少年団でやっていくというものだが、元々はもう学校部活動ではなく、地域クラブに移行しなさいという流れなので、そうなると部活動ではない組織で、休日は活動しなさいということ。そうなると、休日は学校の垣根を取り払い、全市1つで活動する。しかし、平日は中学校単位で部活動をやるというのは過渡期として出てくるが、最終的には部活動が全て地域クラブ移行する方針なので、ゆくゆくは学校教育の中での部活動は、文化部も含めてなくなる方向だと思う。現実的には、これだけ広い奥州市で地域クラブ活動をやるとしても、行ける子と行けない子が出てくると思う。当然、保護者等が送迎しなければならぬなど様々な弊害があるので、一気に進まないと思う。まずは、できるところで学校単位部活動を休日もその単位で、他の指導者で移行できるというようなところで、来年度は進めていきたいと思う。

【討論】

なし

採決の結果、原案どおり決することに全員異議なし

原案可決

《ここから秘密会、下線部非公開》

第5 議案第3号 令和6年度入学分 奥州市奨学金（入学準備金）の貸与の決定について
松戸教育総務課長が議案を朗読、佐藤教育部長が提案理由を説明し、補足説明を松戸教育総務課長が行った。

【提案理由】

- ・ 議案第3号については、奥州市奨学金 貸与条例第6条の規定により、「入学準備金」の貸与者を決定するため、提出するもの。

【補足説明】

- ・ 奨学金制度の概要等について説明
- ・ 当日配布資料別紙2のとおり

【質疑等】

なし

【討論】

なし

採決の結果、原案どおり決することに全員異議なし

原案可決

閉会